



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東  
 コード番号 6324 URL <https://www.hds.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 丸山 顕 (TEL) 03-5471-7810  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,692	31.9	2,126	19.2	2,297	34.5	1,204	7.4
2022年3月期第1四半期	11,901	27.7	1,784	—	1,707	588.9	1,121	861.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,317百万円(651.1%) 2022年3月期第1四半期 441百万円(△79.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	12.55	—
2022年3月期第1四半期	11.65	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	148,449	99,125	66.8
2022年3月期	143,289	98,856	69.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 99,125百万円 2022年3月期 98,856百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	11.00	—	18.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	32.9	5,500	55.9	5,500	54.2	3,500	57.8	36.36
通期	75,000	31.4	13,000	48.7	13,000	42.7	9,000	35.5	93.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	96,315,400株	2022年3月期	96,315,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	641,036株	2022年3月期	52,336株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	95,986,581株	2022年3月期1Q	96,263,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 海外売上高	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年6月30日まで）における世界経済は、半導体部品を含む電子部品の不足に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う中国の主要都市（上海市など）のロックダウン、ウクライナ問題に起因する資源価格の高騰など不透明感が強まりました。このような状況の中、当社グループの事業環境は、半導体市場の需要が引き続き拡大したことに加え、自動車市場のEV化に伴う二次電池関連の設備投資が積極的に行われたことから、総じて良好に推移しました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、自動車やスマートフォン、家電などの生産自動化に使用される産業用ロボット向けが増加したことに加え、半導体製造装置向け、車載向け、その他一般産業機械向けなどの用途が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比31.9%増加の156億92百万円となりました。

損益面につきましては、生産能力増強投資を実施したことにより、減価償却費が増加したことに加え、製造部門をはじめとする人員増などにより製造費用や販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加に伴う増益効果の影響により、営業利益は前年同期比19.2%増加の21億26百万円となりました。また、主に営業利益の増加に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比7.4%増加の12億4百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比33.0%増加の129億4百万円、メカトロニクス製品が同26.9%増加の27億88百万円で、売上高比率はそれぞれ、82.2%、17.8%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### (日本)

中国における新型コロナウイルス感染拡大に伴う都市封鎖（ロックダウン）の影響を受け、中国向け販売が一時的に減少したものの、生産の高度化・自動化を目的とした設備投資が積極的に行われたことにより、産業用ロボット向けの需要が増加したことに加え、半導体、自動車などの需要が高い水準で推移したことにより半導体製造装置向け、車載向けの需要が増加し、売上高は前年同期比33.6%増加の102億27百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、増収の影響により、前年同期比21.9%増加の30億82百万円となりました。

#### (北米)

半導体需要の拡大に伴い、半導体製造装置向けの需要が増加したことに加え、コロナ禍からの正常化が進み、先進医療用途（手術支援ロボット関連）向けの需要が増加し、売上高は前年同期比41.1%増加の19億36百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、増収の影響により、前年同期比158.7%増加の1億50百万円となりました。

#### (欧州)

ウクライナ問題による影響は限定的に留まった一方で、設備投資需要が拡大したことに伴い、主に産業用ロボット向けと一般産業機械向けの需要が増加し、売上高は前年同期比22.8%増加の35億28百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）につきましては、ハーモニック・ドライブ・エスイー株式取得時に計上した無形資産に係る償却費4億17百万円の負担はあったものの、増収効果により、1億77百万円のセグメント利益（経常利益）（前年同期はセグメント損失58百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて51億59百万円増加（前連結会計年度末比3.6%増）し、1,484億49百万円となりました。これは、自己株式取得により現金及び預金が11億88百万円減少（前連結会計年度末比6.0%減）した一方で、固定資産が26億57百万円増加（前連結会計年度末比2.7%増）したことに加え、商品及び製品、仕掛品が19億32百万円増加（前連結会計年度末比38.4%増）したことが主な要因です。

### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて48億90百万円増加（前連結会計年度末比11.0%増）し、493億24百万円となりました。これは、未払法人税等が21億14百万円減少（前連結会計年度末比81.2%減）した一方で、その他流動負債が33億18百万円増加（前連結会計年度末比113.3%増）したことに加え、自己株式取得の資金調達を目的とした短期借入金が30億円増加（前連結会計年度末比917.3%増）したことが主な要因です。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて2億68百万円増加（前連結会計年度末比0.3%増）し、991億25百万円となりました。これは、自己株式取得により株主資本合計が18億43百万円減少（前連結会計年度末比2.1%減）した一方で、為替変動の影響により為替換算調整勘定が23億90百万円増加（前連結会計年度末比63.7%増）したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の69.0%から66.8%になりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に発表しました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の数値に変更はありません。今後、変更が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,901,290	18,712,468
受取手形	6,963,283	7,170,537
売掛金	8,621,584	9,261,344
有価証券	27,616	30,168
商品及び製品	1,146,401	2,027,306
仕掛品	3,883,587	4,935,301
原材料及び貯蔵品	4,374,176	4,857,521
その他	976,918	1,400,756
貸倒引当金	△22,146	△21,020
流動資産合計	45,872,713	48,374,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,679,146	19,946,469
機械装置及び運搬具(純額)	14,068,453	13,792,144
その他(純額)	10,220,002	12,166,816
有形固定資産合計	43,967,603	45,905,430
無形固定資産		
のれん	15,336,072	15,739,069
ソフトウェア	250,811	258,648
顧客関係資産	19,589,451	20,104,218
技術資産	5,232,055	5,369,542
その他	27,468	27,191
無形固定資産合計	40,435,860	41,498,670
投資その他の資産		
投資有価証券	11,129,188	10,756,256
関係会社株式	90,821	97,104
退職給付に係る資産	1,207,717	1,220,568
繰延税金資産	454,910	463,229
その他	136,704	139,317
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	13,013,742	12,670,876
固定資産合計	97,417,205	100,074,978
資産合計	143,289,918	148,449,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,856,847	4,785,234
短期借入金	327,135	3,327,993
1年内返済予定の長期借入金	1,942,662	1,945,342
リース債務	471,703	510,052
未払法人税等	2,604,300	489,981
賞与引当金	1,342,333	719,675
役員賞与引当金	305,941	143,891
製品補償損失引当金	62,294	59,518
その他	3,214,171	6,668,567
流動負債合計	14,127,390	18,650,256
固定負債		
長期借入金	14,617,513	14,127,372
リース債務	3,548,469	3,547,764
繰延税金負債	9,938,302	10,403,881
役員退職慰労引当金	490,413	3,000
その他の引当金	129,193	64,650
退職給付に係る負債	1,009,659	990,674
その他	572,673	1,536,464
固定負債合計	30,306,225	30,673,806
負債合計	44,433,616	49,324,063
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	22,762,168	22,762,168
利益剰余金	59,361,329	59,506,702
自己株式	△38,897	△2,028,256
株主資本合計	89,184,636	87,340,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,911,738	5,629,053
為替換算調整勘定	3,753,287	6,143,740
退職給付に係る調整累計額	6,640	11,855
その他の包括利益累計額合計	9,671,666	11,784,649
純資産合計	98,856,302	99,125,300
負債純資産合計	143,289,918	148,449,363

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	11,901,335	15,692,599
売上原価	6,950,263	9,888,087
売上総利益	4,951,071	5,804,511
販売費及び一般管理費	3,166,919	3,677,785
営業利益	1,784,152	2,126,726
営業外収益		
受取利息	5,043	790
受取配当金	1,420	1,179
持分法による投資利益	—	6,282
為替差益	—	202,493
補助金収入	9,548	733
その他	57,279	52,685
営業外収益合計	73,291	264,165
営業外費用		
支払利息	27,776	36,359
売上割引	1,675	3,400
持分法による投資損失	314	—
為替差損	65,914	—
賃貸費用	41,829	36,049
その他	12,406	17,884
営業外費用合計	149,917	93,694
経常利益	1,707,526	2,297,197
特別利益		
固定資産売却益	—	49
特別利益合計	—	49
特別損失		
固定資産除却損	6,385	5,940
特別退職金	1,792	—
役員退職特別加算金	12,500	501,537
特別損失合計	20,677	507,477
税金等調整前四半期純利益	1,686,849	1,789,769
法人税、住民税及び事業税	510,774	398,427
法人税等調整額	63,767	187,075
法人税等合計	574,542	585,503
四半期純利益	1,112,306	1,204,266
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,506	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,121,812	1,204,266



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,112,306	1,204,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,026,747	△282,684
為替換算調整勘定	1,348,004	2,390,452
退職給付に係る調整額	8,083	5,215
その他の包括利益合計	△670,659	2,112,983
四半期包括利益	441,646	3,317,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,058	3,317,249
非支配株主に係る四半期包括利益	182,588	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式588,700株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が1,989,359千円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は2,028,256千円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,656,830	1,372,109	2,872,395	11,901,335	—	11,901,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,244,183	1,128	21,575	1,266,887	△1,266,887	—
計	8,901,014	1,373,237	2,893,970	13,168,222	△1,266,887	11,901,335
セグメント利益又は損失(△)	2,529,441	58,033	△58,351	2,529,123	△821,596	1,707,526

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△821,596千円には、セグメント間取引消去△291,387千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△530,209千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 北米地域への売上高には、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める米国の売上高1,204,087千円が含まれております。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,227,970	1,936,144	3,528,484	15,692,599	—	15,692,599
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,482,516	4,167	126,489	1,613,173	△1,613,173	—
計	11,710,486	1,940,312	3,654,973	17,305,773	△1,613,173	15,692,599
セグメント利益	3,082,879	150,113	177,756	3,410,749	△1,113,552	2,297,197

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,113,552千円には、セグメント間取引消去△494,740千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△618,811千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	10,766,318	47.6
	メカトロニクス製品	1,418,673	7.9
北米	減速装置	763,158	65.9
	メカトロニクス製品	724,611	77.2
欧州	減速装置	2,534,033	42.0
	メカトロニクス製品	772,996	57.9
合 計		16,979,791	44.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。  
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。  
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

## ② 受注実績

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	7,319,373	△53.2	29,110,479	85.9
	メカトロニクス製品	1,073,758	△23.7	2,509,173	137.8
北米	減速装置	1,084,836	△13.6	4,468,890	173.5
	メカトロニクス製品	2,481,303	88.5	7,126,587	273.8
欧州	減速装置	3,081,964	19.1	5,668,441	80.7
	メカトロニクス製品	1,183,850	65.4	2,593,997	92.0
合 計		16,225,086	△29.2	51,477,570	108.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。  
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。  
 6. 受注残高は、当第1四半期連結累計期間において日本セグメントを中心に発生した540,541千円の受注取り消し額を差し引いております。

## ③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	9,371,650	37.1
	メカトロニクス製品	856,320	4.4
北米	減速装置	890,338	24.1
	メカトロニクス製品	1,045,805	59.7
欧州	減速装置	2,642,358	22.9
	メカトロニクス製品	886,125	22.7
合 計		15,692,599	31.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第1四半期連結累計期間	
	販売高（千円）	割合（%）
株式会社羽根田商会	1,831,310	11.7

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
4. 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。  
5. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。  
6. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

## (2) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,528,484	1,936,144	1,460,391	6,925,019
II 連結売上高(千円)	—	—	—	15,692,599
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	22.5	12.3	9.3	44.1

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
2. 各区分に属する主な国又は地域  
(1) 欧州……ドイツ  
(2) 北米……米国  
(3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア  
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。